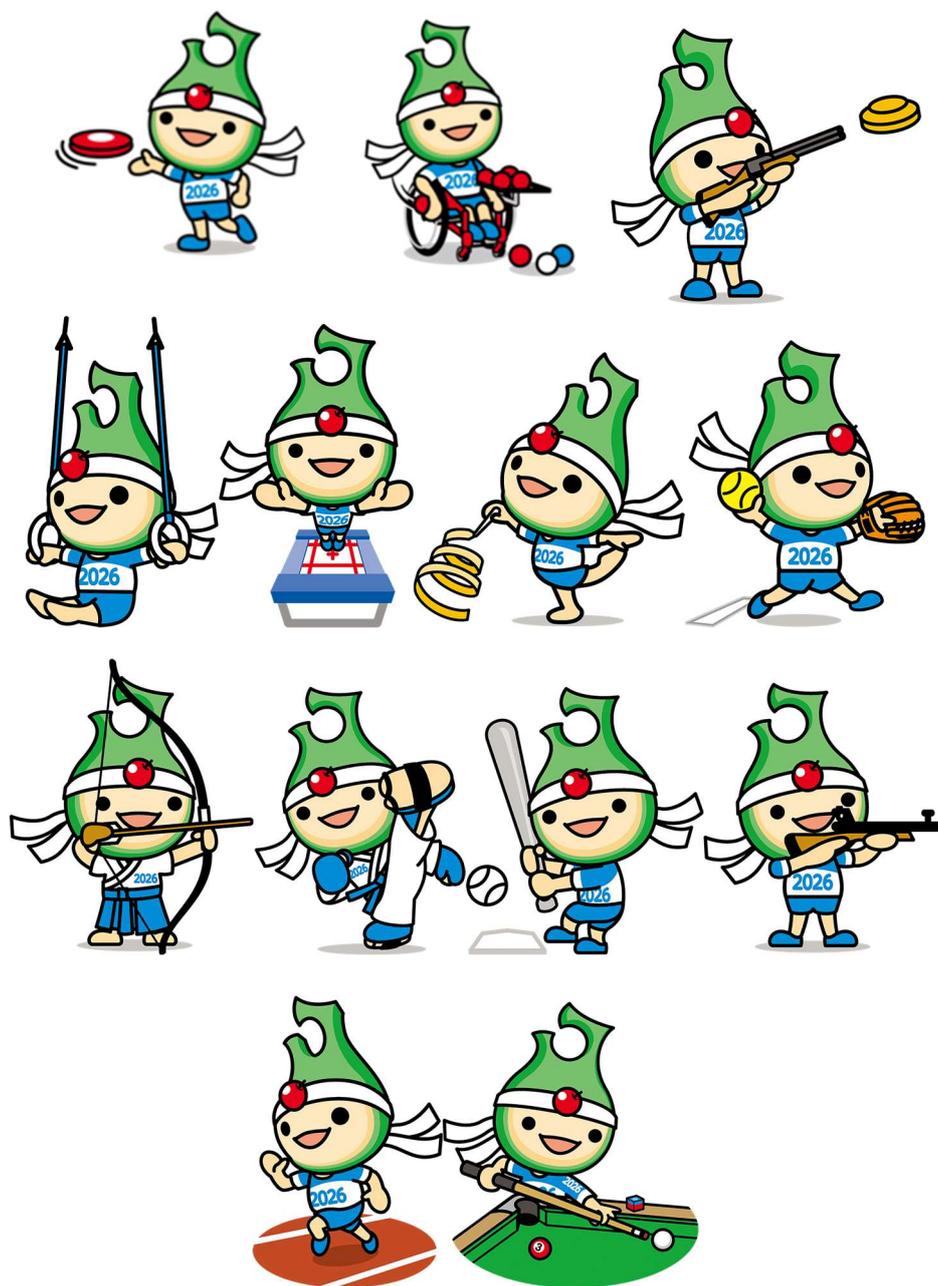


第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会
弘前市準備委員会

第1回宿泊衛生専門委員会



日時：令和5年7月10日（月） 午後3時00分から

場所：弘前市役所市民防災館3階 防災会議室

大会マスコットキャラクター「アップリート君」

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会
弘前市準備委員会第1回宿泊衛生専門委員会次第

日時：令和5年7月10日（月）
午後3時00分から
場所：弘前市役所防災会議室

1 開会

2 委員長挨拶

3 委員紹介

4 報告事項

第1号報告	第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会の概要	・・・2
第2号報告	第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会 弘前市開催推進総合計画	・・・7
第3号報告	第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会 弘前市準備委員会及び専門委員会の概要	・・・11
第4号報告	いちご一会とちぎ国体視察報告	・・・13

5 審議事項

第1号議案	第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会 弘前市宿泊基本計画（案）	・・・24
第2号議案	第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会 弘前市医事・衛生基本計画（案）	・・・26

6 その他 意見交換

7 閉会

（参考資料）

資料1	第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会 弘前市準備委員会会則	・・・27
資料2	第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会 弘前市準備委員会専門委員会規程	・・・31
資料3	第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会 弘前市準備委員会宿泊衛生専門委員会名簿	・・・33
資料4	第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会 開催準備経過	・・・34

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会の概要

1 目的

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が、障がい者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とする。

2 主催

国民スポーツ大会の主催者は、公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省及び開催地都道府県とし、各競技会については日本スポーツ協会加盟競技団体等及び会場地市町村を含めたものとする。

全国障害者スポーツ大会の主催者は、公益財団法人日本パラスポーツ協会、文部科学省、大会開催地の都道府県及び市町村並びにその他の関係団体とする。

3 大会の開催時期、期間及び会期

【国民スポーツ大会】

- ・開催時期：9月中旬頃から10月中旬頃
- ・開催期間：11日間以内

【全国障害者スポーツ大会】

- ・開催時期：原則として国民スポーツ大会の直後
- ・開催期間：3日間

4 実施予定競技

【国民スポーツ大会】

(1) 正式競技 37競技（毎年実施36競技、隔年実施1競技）

都道府県対抗で実施し、得点対象（天皇杯・皇后杯対象競技）となる。

○毎年実施競技

陸上競技	水泳	サッカー
テニス	ボート	ホッケー
バレーボール	体操	バスケットボール
レスリング	セーリング	ウエイトリフティング
ハンドボール	自転車	ソフトテニス
卓球	軟式野球	相撲
馬術	フェンシング	柔道

【第1号報告】

ソフトボール	バドミントン	弓道
ライフル射撃	剣道	ラグビーフットボール
スポーツクライミング	カヌー	アーチェリー
空手道	銃剣道	なぎなた
ボウリング	ゴルフ	トライアスロン

○隔年開催競技競技（1競技）

クレール射撃競技とボクシング競技のうち、第80回国民スポーツ大会では、クレール射撃競技を実施する。

（2）特別競技 1競技

毎年開催される高等学校野球（硬式及び軟式）で、都道府県対抗の得点対象外である。

（3）公開競技 7競技

都道府県代表の参加により中央競技団体主導で開催するもので、都道府県対抗の得点対象外である。

綱引	ゲートボール	武術太極拳
パワーリフティング	グランド・ゴルフ	バウンドテニス
エアロビック		

（4）デモンストレーションスポーツ（38競技）

県内の皆さんが国民スポーツ大会へ参加できる機会を設け、幅広い年齢層の方々が、スポーツに親しむきっかけや世代間、地域間の交流等を目的に生涯スポーツ推進の観点から実施する競技で、県民の皆さんが参加するスポーツで、都道府県対抗の得点対象外である。

パークゴルフ	フライングディスク	年齢別バドミントン
3B体操	ペタンク	マスターズスイミング
ノルディックウォーキング	スポーツウエルネス吹矢	パラグライダー
オリエンテーリング	ユニカール	ふれあいゲートボール
マラソン&ウォーキング	ビーチサッカー	マラソン
女子ソフトボール	スポーツチャンバラ	ファイン・ボール
空道	ウォーキング	ふれあいソフトボール
ソフトバレーボール	フロアボール	ウォークビンゴ
カーリング	ターゲット・バードゴルフ	ドッジボール
年齢別ソフトテニス	年齢別テニス	ふれあいボウリング
ユニバーサルホッケー	ラージボール卓球	マスターズ陸上競技

【第1号報告】

Let's Enjoy バウンドテニス	いきいき太極拳	インディアカ
ダンススポーツ	ビリヤード	

《弘前市開催競技》

(1) 正式競技 (6 競技)

競技・種目名		種別	開催予定施設	
体操	体操競技	全種別	青森県武道館	
	新体操	少年男子		
		少年女子		
トランポリン	全種別			
ソフトボール		成年女子	弘前市運動公園野球場 岩木山総合公園野球場	
弓道	近的、遠的	全種別	青森県武道館	
ライフル射撃	50m	全種別	変更前	変更予定
	10m・A P		岩木青少年スポーツセンター特設ライフル射撃場	弘前市運動公園運動広場特設ライフル射撃場
	B P・B R	全種別	変更前	変更予定
			岩木青少年スポーツセンター	弘前克雪トレーニングセンター
空手道		全種別	青森県武道館	
クレー射撃	トラップ、スキート	全種別	弘前クレー射撃場	

(2) 特別競技 (1 競技)

競技・種目名		種別	開催予定施設	
高等学校野球	硬式、軟式	—	弘前市運動公園野球場	

(3) デモンストレーションスポーツ (2 競技)

競技・種目名		種別	開催予定施設	
マスターズ陸上		—	弘前市運動公園陸上競技場	
ビリヤード		—	弘前朝日会館マンハッタンクラブ	

【全国障害者スポーツ大会】

【第1号報告】

(1) 正式競技

公益財団法人日本パラスポーツ協会が定める「全国障害者スポーツ大会競技規則」に基づき、個人競技及び団体競技あわせて14競技が開催される。

○個人競技 7競技

競技名		障害区分
陸上競技		身体・知的
水泳		身体・知的
アーチェリー		身体
卓球	卓球	身体・知的・精神
	サウンドテーブルテニス	身体（視）
フライングディスク		身体・知的
ボッチャ		身体
ボウリング		知的

○団体競技 7競技

競技名		障害区分
バスケットボール（男・女）		知的
車いすバスケットボール		身体
ソフトボール		知的
グラウンドソフトボール		身体
フットベースボール		知的
バレーボール（男・女） ※精神のみ男女混合チーム		身体（聴覚）
		知的
		精神
サッカー		知的

(2) オープン競技

オープン競技は、広く障害のある人の間にスポーツを普及する観点から有効と認められるものについて、開催県が希望する種目を独自に実施する。

未定（令和5年度決定予定）

※過去の実績

大会	オープン競技
岩手大会（平成28年）	ビリヤード（身・知・精）、卓球バレー（身・知・精）、ゲートボール（身・知・精）、ペタンク（身・知・精）
愛媛大会（平成29年）	肢体障がい者ボウリング（身）、ブラインドテニス（身）、精神障がい者フットサル（精）

【第1号報告】

福井大会（平成30年）	卓球バレー（身・知・精）、車いすテニス（身）、ゲートボール（身）
茨城大会（令和元年）	グラウンド・ゴルフ（身・知・精）、車いすダンス（身）、スポーツウエルネス吹矢（身・知・精）、卓球バレー（身・知・精）、ハンドアーチェリー（身・知）、ブラインドテニス（身）
とちぎ大会（令和4年）	卓球バレー（身・知・精）、車椅子ダンス（身）、スポーツウエルネス吹矢（身）

《弘前市開催競技》

正式競技（2競技）

競技	障害区分	開催予定施設
フライングディスク	身体・知的	弘前市運動公園陸上競技場
ボッチャ	身体	青森県武道館

5 愛称・スローガン・マスコットキャラクター

○愛称：「青の煌めきあおもり国スポ」

「青の煌めきあおもり障スポ」

青の^{きら}煌めきあおもり国スポ

青の^{きら}煌めきあおもり障スポ

○スローガン：「翔ける未来へ縄文の風に乗って」（共通）

翔ける未来へ縄文の風に乗って

○マスコットキャラクター：アップリート君（共通）



第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会
弘前市開催推進総合計画

1 趣旨

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会の成功に向け、市民総参加の取り組みにより「健康都市弘前」と「共生社会」の実現や、本市の魅力を全国に発信し、地域振興につなげ、心に残る魅力ある大会を目指し、弘前市開催基本方針に基づき、開催推進総合計画を定めるものとする。

2 推進項目

(1) 総務企画関係

① 総務企画

県、競技団体、関係機関及び関係団体（以下「県等」という。）と緊密に連携し、スポーツへの関心を高め、スポーツに親しむ契機とするとともに、市民の力を結集し、地域の活性化につながる大会とするため、総合的な計画の立案と施策の推進を図る。

② 財務

県等との相互協力のもと、創意工夫をこらした魅力ある大会を目指し、適切で効率的な財務の運営を図る。

③ 広報

大会に対する市民の関心や参加意欲を高め、計画的かつ効果的な広報活動を積極的に展開するとともに、本市の自然、歴史、文化等の地域資源を全国の方々に向けて発信する。

④ 市民協働

市民一人ひとりが大会開催の意義を理解し、それぞれの立場で、創意工夫をこらし、大会を盛り上げることにより、市民協働のまちづくりの推進を図る。

⑤ 観光・おもてなし

選手・監督をはじめ、本市を訪れる全ての方々に、本市の自然、歴史、文化等の魅力を発信し、触れていただくことで、再び訪れていただけるよう心のこもったおもてなしを提供する。

(2) 競技式典関係

① 競技

県等と緊密に連携し、競技会の円滑な運営を図るとともに、競技運営に必要な用具等については、可能な限り現有のものを活用するなど効率的に整備する。

② 式典

県等と十分に協議し、簡素な装飾や演出に努めることを基本としつつ、本市の特色

【第2号報告】

を生かした式典とする。

③ 施設

国民体育大会開催基準要項に規定されている施設基準を尊重し、既存施設の有効活用に努める。

(3) 宿泊衛生関係

① 宿泊

選手・監督をはじめ、大会関係者等の宿泊については、宿泊施設その他関係機関との緊密な連携により、安全で快適な宿舍の確保を図り、受け入れ体制に万全を期する。

② 医事・衛生

選手・監督をはじめ、大会に関わる全ての方々の健康を確保しながら、快適な環境のもとで開催するため、県等と緊密に連携し、食品衛生及び環境衛生に配慮するとともに、防疫対策及び医療救護体制の確立を図る。

(4) 輸送交通関係

① 輸送・交通

本市の交通事情を勘案し、交通事業者その他関係機関と緊密に連携し、安全かつ効率的で確実な輸送手段の確保に努める。また、公共交通機関の利用を促進するなど、交通混雑の緩和と環境に配慮した輸送・交通体制の確立を図る。

② 警備・消防

競技会場その他大会関係施設における治安の確保や災害の防止、非常時における緊急対応に万全を期するため、警察・消防その他関係機関と緊密に連携し、警備・消防防災体制の確立を図る。

3 年次計画

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市開催推進総合年次計画（年度別業務一覧）は、別表のとおりとする。

(別表) 第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市開催推進総合年次計画 (年度別業務一覧)

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	令和3年度 (5年前) 三重県 (中止)	令和4年度 (4年前) 栃木県	令和5年度 (3年前) 鹿児島県	令和6年度 (2年前) 佐賀県	令和7年度 (1年前) 滋賀県	令和8年度 (開催年)
市体制・主要行事		国スポ・障スポ 準備室設置	日本スポーツ協会・ 文部科学省総合観察 大会開催・会期決定		中央競技団体 最終観察 リハーサル大会開催	第80回国民スポーツ 大会開催 第25回全国障害者 スポーツ大会開催
準備組織		準備委員会 設立発起人会開催 準備委員会 設立総会・第1回総会 常任委員会開催	準備委員会第2回総 会・実行委員会第1 回総会開催 総務企画専門委員会 設置・開催 競技式典専門委員会 設置・開催 宿泊衛生専門委員会 設置・開催 輸送交通専門委員会 設置・開催 庁内推進本部設置	実行委員会 第2回総会開催 リハーサル大会 実施本部設置	実行委員会 第3回総会開催 実施本部設置	実行委員会 第4回総会開催
総務企画 ①総務企画 ②財務	県準備委員会との 連絡調整		県実行委員会との 連絡調整			
	開催推進総合計画 策定・進捗管理			大会運営 ガイドライン策定	大会実施本部 運営マニュアル作成	
	リハーサル大会 開催経費検討		協賛金取扱 要項策定	協賛の推進		
	開催経費検討			リハーサル大会 予算編成	リハーサル大会 予算執行・決算	開催経費 予算執行・決算
				識別用品 整備要項策定	リハーサル大会用 識別用品整備	識別用品整備
③広報			広報基本計画策定			
			広報啓発活動の推進	実行委員会ホーム ページ開設・運営		
			大会報告書編成 方針決定			大会報告書作成
④市民協働			市民協働 基本計画策定	市民協働の推進		
			ボランティア募集 要項策定	リハーサル大会ボラ ンティア業務計画策定 ボランティア募集	ボランティア 業務計画策定 ボランティア募集・ 研修会開催 リハーサル大会ボラ ンティア配置	ボランティア配置
⑤観光・ おもてなし				観光・おもてなし 実施要領策定	ガイドブック・観光 ガイドマップ作成	ガイドブック・観光 ガイドマップ配布
				案内所 設置要項策定	リハーサル大会 案内所設置	案内所設置
			観光・おもてなし 基本計画策定	休憩所等 設置要項策定	リハーサル大会 休憩所等設置	休憩所等設置
				売店設置要項策定	リハーサル大会 売店設置	売店設置
				歓迎装飾 実施要項策定	リハーサル大会 歓迎装飾実施	歓迎装飾実施

第5回実行委員会総会(解散総会)
第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会開催
大会決算書
大会報告書

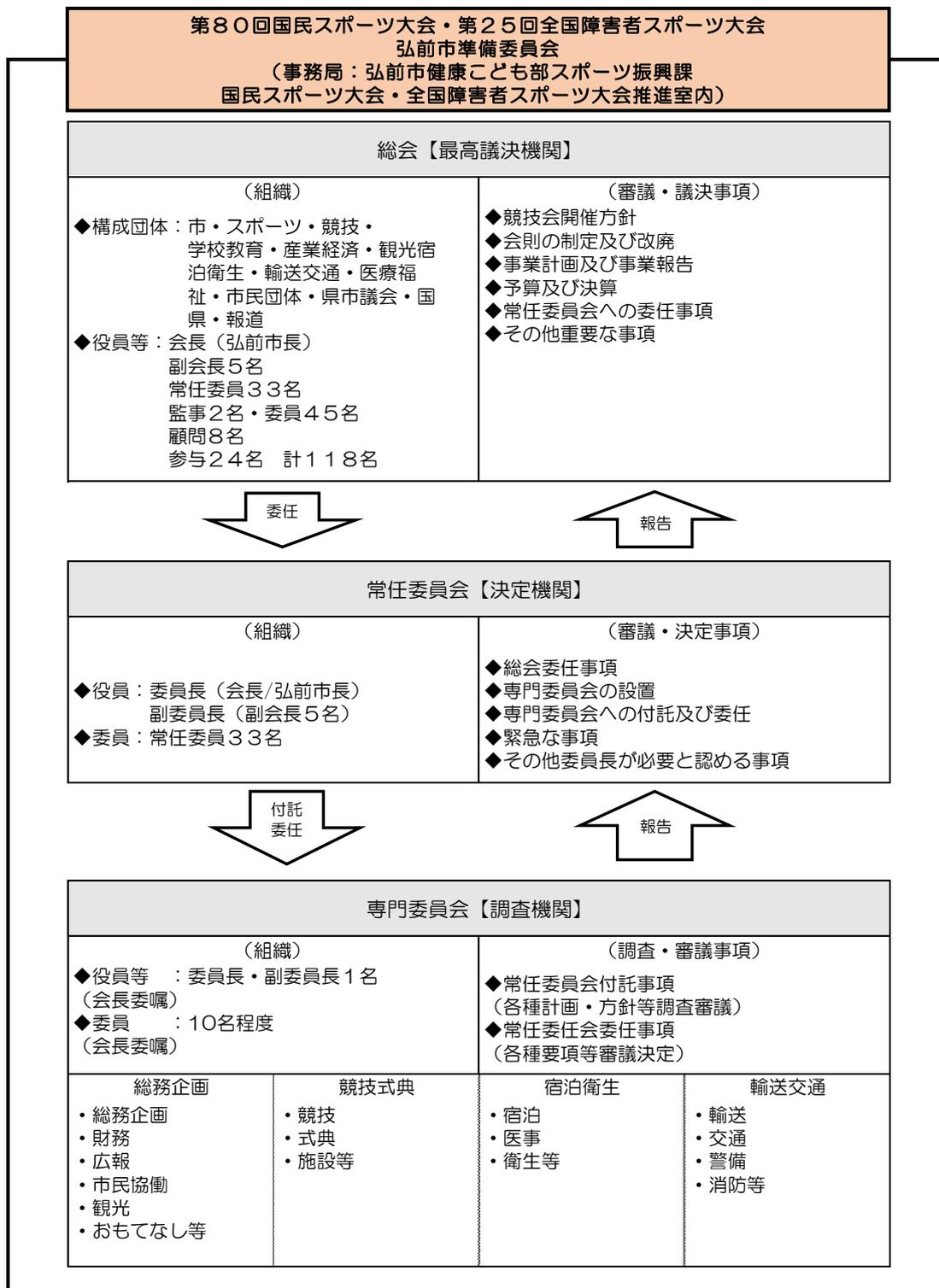
(別表) 第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市開催推進総合年次計画 (年度別業務一覧)

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
	令和3年度 (5年前) 三重県 (中止)	令和4年度 (4年前) 栃木県	令和5年度 (3年前) 鹿児島県	令和6年度 (2年前) 佐賀県	令和7年度 (1年前) 滋賀県	令和8年度 (開催年)	
競技式典専門委員会	①競技 競技用具 整備計画策定調査 競技役員等 編成 (案) 検討 競技会係員・補助員 編成 (案) 検討 リハーサル大会 実施検討 デモスポ 開催競技選定【県】		競技運営 基本計画策定 競技用具 整備計画策定 リハーサル大会開催 基本計画策定	競技別実施計画策定 競技用具整備	競技別実施要項策定 競技別リハーサル大会 実施要項作成 情報通信 基本計画策定	競技別実施要項策定 競技会係員・補助員 編成決定・養成 デモスポ 実施要項策定 情報通信業務 実施要項策定	競技別 プログラム作成 競技役員等編成 決定・委嘱 競技会係員・補助員 の委嘱 デモスポ実施 臨時通信施設 架設設置
	②式典		式典基本計画策定	式典実施要項作成		各競技会 開始式・表彰式実施	
	③施設		競技施設整備の実施	施設整備 基本計画策定	リハーサル大会会場 設営仕様書作成	リハーサル大会 会場設営 会場設営仕様書作成	会場設営
宿泊衛生専門委員会	①宿泊	仮配宿 シミュレーション	宿泊基本計画策定		宿泊要項作成 弁当調達要項作成	宿泊本部設置 配宿実施 弁当調達実施	
	②医事・衛生		医事・衛生 基本計画策定 医療救護要項策定 感染対策要項策定 食品衛生 対策要項策定 環境衛生 対策要項策定	医療救護実施 マニュアル策定 リハーサル大会救護 所設置計画策定 感染対策実施 マニュアル策定 食品衛生対策実施 マニュアル策定 環境衛生対策実施 マニュアル策定	救護所設置計画策定 リハーサル大会 救護所設置 廃棄物処理計画策定	救護所設置 医事衛生本部設置 廃棄物処理実施	
輸送交通専門委員会	①輸送・交通		輸送・交通 基本計画策定 輸送・交通 実施要項策定 計画輸送 シミュレーション 輸送計画調査 駐車場等調査	リハ大会 輸送計画作成	リハ大会 輸送計画実施 輸送計画作成	輸送本部設置	
	①警備・消防		警備・消防 基本計画策定	警備・消防業務 実施要項策定 リハーサル大会 警備・消防計画策定	警備・消防計画策定 リハーサル大会 警備・消防本部設置	警備・消防 本部設置	

第5回実行委員会総会(解散総会)
第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会開催
大会決算書
大会報告書

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会
弘前市準備委員会及び専門委員会の概要

1 準備委員会



【第3号報告】

2 専門委員会

(1) 主な役割

常任委員会からの付託事項を調査審議、または委任事項を審議決定し、その結果を常任委員会に報告すること。

(2) その他

専門的な立場からのアイデアや意見交換。

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市準備委員会会則一部抜粋
(会議の種類)

第10条 準備委員会に、次に掲げる会議を置く。

(1) 総会

(2) 常任委員会

(3) 専門委員会

(専門委員会)

第13条 専門委員会は、会長が委嘱した専門委員をもって構成する。

2 専門委員会は、常任委員会から付託又は委任された事項について調査、審議し、その結果を常任委員会に報告するものとする。

3 前2項の規定に定めるもののほか、専門委員会に関して必要な事項は、常任委員会に諮り、会長が別に定める。

4 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

3 今後の会議予定

会 議	開催時期	内容等	備 考
第2回常任委員会	令和5年8月中旬	各種計画の審議・決定	〔専門委員会の開催〕 年に1～2回を予定 (委員会により異なる)
準備委員会第2回総会・ 実行委員会第1回総会	令和5年8月中旬	各種計画及び事業の報告 予算及び決算	
第2回専門委員会	令和6年2月上旬	各種要項等の審議	

いちご一会とちぎ大会視察報告

弘前市開催競技

開催競技	開催会期	会場地	競技会場
体操 競技	9/10 (土) ～ 9/13 (火)	宇都宮市	日環アリーナ 栃木メインアリーナ (栃木県総合運動公園 メインアリーナ)
弓道	9/10 (土) ～ 9/13 (火)	宇都宮市	ユウケイ武道館 (栃木県総合運動公園 武道館)
新体操	9/18 (日) ～ 9/19 (月)	小山市	栃木県立県南体育館
空手道	10/2 (日) ～ 10/4 (火)	小山市	栃木県立県南体育館
高等学校 野球	10/2 (日) ～ 10/5 (水)	宇都宮市	宇都宮清原球場 栃木県総合運動公園 硬式野球場
ライフル 射撃	10/6 (木) ～ 10/9 (日)	宇都宮市	栃木県ライフル射撃場 栃木県総合教育センター 体育館
ソフト ボール (成年女子)	10/8 (土) ～ 10/10 (月)	大田原市	美原公園野球場 美原公園第2球場
トランポリン	10/9 (日)	茂木町	茂木町民体育館

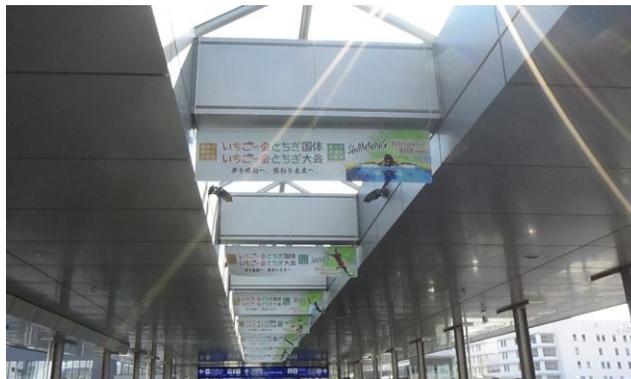
いちご一会とちぎ大会視察報告

開催地視察（まちなか装飾）

宇都宮駅周辺



▲JR宇都宮駅西口広告塔



▲JR宇都宮駅自由通路広報フラッグ



▲JR宇都宮駅西口歓迎横断幕



▲JR宇都宮駅エスカレーターラッピング



▲JR宇都宮駅ビル自動ドアラッピング

いちご一会とちぎ大会視察報告

開催地視察（まちなか装飾）

小山市



▲JR小山駅周辺懸垂幕



▲栃木県立県南体育館
47都道府県手づくり応援のぼり



▲栃木県立県南体育館階段装飾



▲JR小山駅自由通路看板装飾

いちご一会とちぎ大会視察報告

開催地視察（まちなか装飾）

花いっぱい運動



競技会場視察

カウントダウンボード



いちご一会とちぎ大会視察報告

🚗 競技会場視察（会場入口・周辺）

🚗 タクシー・バス関係



🚗 会場入口・受付



いちご一会とちぎ大会視察報告

🍷 競技会場視察（会場入口・周辺）

🍷 案内所



🍷 売店・特産品販売コーナー



🍷 おもてなし



▲農産物のふるまい(大田原市)

▲銘菓のふるまい (小山市)

▲無料ドリンクふるまい(宇都宮市)

いちご一会とちぎ大会視察報告

競技会場視察

学校応援



その他



▲各種ブースやのぼりの設置

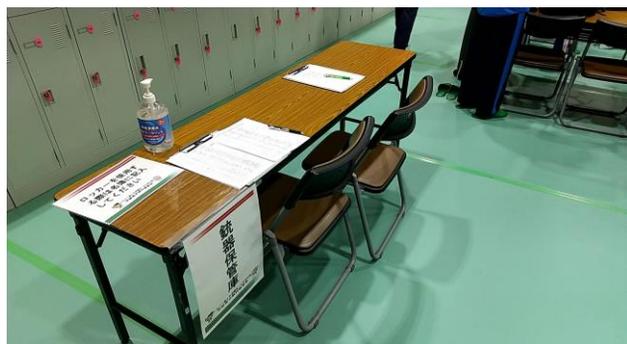
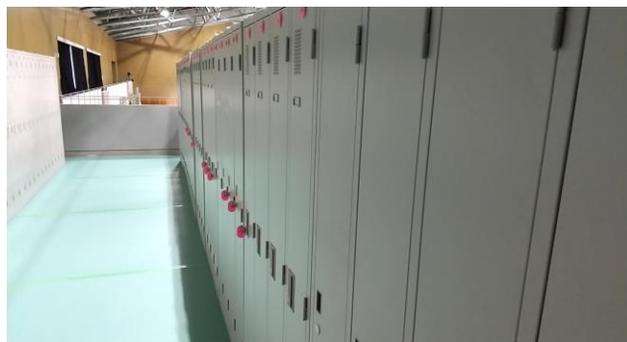


▲仮設多目的トイレ

いちご一会とちぎ大会視察報告

競技会場視察

ライフル射撃 (BP・BR)



いちご一会とちぎ大会視察報告

競技会場視察

ライフル射撃 (50・10)



空手

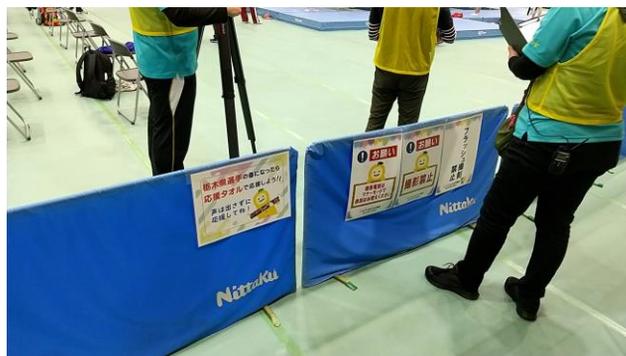


いちご一会とちぎ大会視察報告

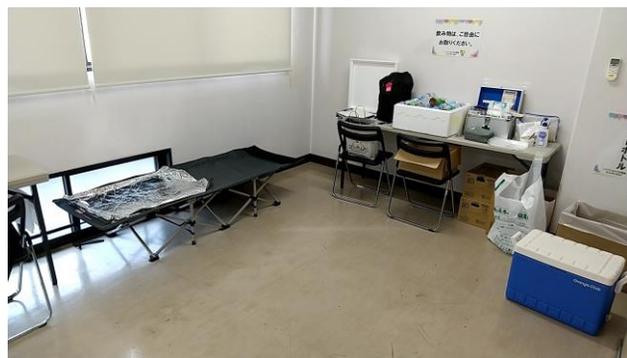
競技会場視察

トランポリン

・競技エリア



・救護室



いちご一会とちぎ大会視察報告

競技会場視察

ソフトボール



高校野球（硬式）



新体操



【第1号議案】

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会 弘前市宿泊基本計画（案）

1 目的

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」（以下、「大会」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他の関係者（以下「大会参加者」という。）を心のこもったおもてなしでお迎えし、それぞれの分野で十分な活躍ができるよう、「弘前市開催推進総合計画」に基づき、宿泊施設その他関係機関との緊密な連携により、安全で快適な宿舎の確保を図り、受け入れ体制に万全を期する。

2 内容

（1）宿舎

- ア 大会参加者の宿舎は、原則として市内の旅館等（旅館業法の許可を受けて営業を行うホテル、旅館及び簡易宿所をいう。以下同じ。）を利用する。
- イ 市内の旅館等だけで大会参加者を収容することが困難な場合は、県、関係機関、関係団体等と協議のうえ、公共施設や近隣市町村の旅館等を利用する。
- ウ 風紀上、衛生上及び安全対策上支障があると認められる宿舎は利用しない。

（2）配宿

- ア 選手・監督及び競技会に関わる役員の配宿は、競技会場及び練習会場までの交通状況等を考慮し、大会運営に支障のないよう留意して行う。
- イ 選手・監督の配宿は、都道府県別、競技別及び男女別を考慮して割り当てる。
- ウ 役員、視察員、報道員等の宿舎は、原則として選手・監督とは別にする。
- エ 大会参加者を近隣市町の宿舎に配宿する場合は、県と協議して行う。

（3）宿泊料金

大会参加者の宿泊料金は、県と旅館等の関係団体との間で協議し、公益財団法人日本スポーツ協会において決定したものを適用する。

（4）食事

- ア 大会参加者に提供する食事は、衛生面や栄養バランスを考慮するとともに、地元の多彩で新鮮な食材を取り入れた郷土色豊かなものを提供する。

【第1号議案】

イ 弁当の提供は、業務遂行能力及び衛生管理能力のある弁当調製事業者を選定の上、適正に発注・搬入等を行う。

【第2号議案】

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会

弘前市医事・衛生基本計画（案）

1 目的

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」（以下、「大会」という。）の医事・衛生については、参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「大会参加者等」という。）が十分な活躍と観覧ができるよう万全を期するため、「弘前市開催推進総合計画」に基づき、大会に関わる全ての方々の健康を確保しながら、快適な環境のもとで開催するため、県等と緊密に連携し、食品衛生及び環境衛生に配慮するとともに、防疫対策及び医療救護体制の確立を図る。

2 内容

（1）医療救護

大会参加者等の傷病の発生に速やかに対処するため、関係機関、関係団体等の協力を得て、各競技会場に救護所を設置するとともに、応急処置及び必要に応じた医療機関への移送など、医療救護体制を整える。

（2）防疫

大会参加者等の感染症の発生を予防し、また、そのまん延を防止するため、関係機関、関係団体等の協力を得て、防疫体制を整える。

（3）食品衛生

大会参加者等の食中毒の発生予防に努め、飲食物の安全を期するため、関係機関、関係団体等の協力を得て、宿舎及び食品取扱施設等の衛生管理体制を整える。

（4）環境衛生

大会参加者等に清潔で快適な環境を提供するため、関係機関及び関係団体等はもとより、広く市民の協力を得て、宿舎及び競技会場等における環境衛生の取組を推進する。

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会 弘前市準備委員会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市準備委員会（以下「準備委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 準備委員会は、第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会において、弘前市で開催される競技会（以下「競技会」という。）の円滑な運営に関し、必要な準備を行うことを目的とする。

(所掌事項)

第3条 準備委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を行う。

- (1) 競技会の開催に必要な方針及び計画の決定に関すること。
- (2) 競技会の開催に係る準備に関すること。
- (3) 競技会の開催に必要な施設及び設備の整備に関すること。
- (4) 競技会の開催及び準備のための経費に関すること。
- (5) 関係競技団体、関係団体及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (6) その他、準備委員会の目的達成に必要な事項に関すること。

第2章 組織

(組織)

第4条 準備委員会は、会長及び委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- (1) 弘前市を代表する者
- (2) 関係競技団体、関係団体及び関係機関を代表する者
- (3) その他会長が特に必要と認める者

3 会長及び委員は、無報酬とする。

(役員)

第5条 準備委員会に次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 常任委員 35名以内
- (4) 監事 2名

(役員を選任)

第6条 会長は、弘前市長をもって充てる。

2 副会長及び常任委員は、総会の承認を得て、委員のうちから会長が委嘱する。

3 監事は、総会の承認を得て会長が委嘱する。

【参考資料1】

4 副会長、常任委員及び監事は、無報酬とする。

(役員職務)

第7条 会長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき又は欠けたときは、あらかじめ会長が指名した副会長がその職務を代理する。

3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第6項に掲げる事項を審議する。

4 監事は、準備委員会の財務を監査する。

(任期等)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから準備委員会の目的が達成され、解散したときまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属団体又は機関の役職を離れた場合は、その委員等は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。

3 会長は、前2項の規定により委員等に変更があったときは、次の総会において報告する。

(顧問及び参与)

第9条 準備委員会に、顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、会長が重要と認める事項について、会長の諮問に応じ、助言を行う。

4 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じ、助言を行う。

5 前条の規定は、顧問及び参与の任期等について準用する。

6 顧問及び参与は、無報酬とする。

第3章 会議

(会議の種類)

第10条 準備委員会に、次に掲げる会議を置く。

(1) 総会

(2) 常任委員会

(3) 専門委員会

(総会)

第11条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

2 総会は必要に応じて会長が招集する。

3 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれにあたる。

4 総会は、次に掲げる事項について審議し、議決する。

(1) 競技会の開催に必要な方針に関すること。

(2) 会則の制定及び改廃に関すること。

(3) 事業計画及び事業報告に関すること。

(4) 予算及び決算に関すること。

【参考資料1】

- (5) 常任委員会に委任する事項に関すること。
 - (6) その他重要な事項に関すること。
- 5 総会は、委員の過半数の出席がなければ開催し、議決することができない。ただし、総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わることができる。この場合において、当該委員は、出席したものとみなす。
- 6 総会の議事は、出席委員（代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。）の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 7 会長は必要に応じて顧問又は参与に総会への出席を求めることができる。
- 8 会長は、必要があると認めるときは、委員へ事前に送付した議案に対し書面をもって表決を求め、その結果を総会の議決に代えることができる。

（常任委員会）

- 第12条 常任委員会は、委員長、副委員長及び常任委員をもって構成する。
- 2 委員長は、会長をもって充て、副委員長は、副会長をもって充てる。
 - 3 常任委員会は、必要に応じて委員長が招集する。
 - 4 常任委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれにあたる。
 - 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名した者がその職務を代理する。
 - 6 常任委員会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。
 - (1) 総会から委任された事項に関すること。
 - (2) 専門委員会の設置並びに専門委員会への付託及び委任に関すること。
 - (3) 総会を招集するいとまのない緊急な事項に関すること。
 - (4) その他、委員長が必要と認める事項に関すること。
 - 7 前条第5項、第6項及び第8項の規定は、常任委員会において準用する。
 - 8 第8条の規定は、常任委員の任期等について準用する。
 - 9 常任委員会は、第6項の規定により審議し、決定した事項及び次条第2項の規定により専門委員から報告があった事項を必要に応じて次の総会に報告するものとする。

（専門委員会）

- 第13条 専門委員会は、会長が委嘱した専門委員をもって構成する。
- 2 専門委員会は、常任委員会から付託又は委任された事項について調査、審議し、その結果を常任委員会に報告するものとする。
 - 3 前2項の規定に定めるもののほか、専門委員会に関して必要な事項は、常任委員会に諮り、会長が別に定める。
 - 4 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

第4章 会長の専決処分

（会長の専決処分）

- 第14条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがな

【参考資料1】

いとき、又は総会等の権限に属する事項で簡易なものについては、これを専決処分することができる。

- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等において報告し、その承認を得なければならない。

第5章 事務局

(事務局)

第15条 準備委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 財務及び会計

(経費)

第16条 準備委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第17条 準備委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第18条 準備委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

- 2 準備委員会の財務及び会計に関して必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 解散

(解散)

第19条 準備委員会は、第2条に規定する目的が達成されたときは、総会の議決を経て解散するものとする。

- 2 準備委員会が解散するときに有する残余財産は、総会の議決を経て処分するものとする。

第8章 補則

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、準備委員会の運営に関し、必要な事項は会長が別に定める。

附 則

- 1 この会則は、令和4年8月23日から施行する。
- 2 準備委員会の令和4年度における会計年度は、第18条第1項の規定にかかわらず、前項に定める日から、令和5年3月31日までとする。

【参考資料2】

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会
弘前市準備委員会専門委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市準備委員会会則（令和4年8月23日施行）第13条第3項の規定に基づき、第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市準備委員会専門委員会（以下「専門委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(名称等)

第2条 専門委員会の名称及び第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市準備委員会常任委員会からの付託及び委任事項は、別表のとおりとする。

(役員)

第3条 専門委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 若干名

(役員を選任等)

第4条 委員長及び副委員長は、専門委員のうちから第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市準備委員会会長（以下「会長」という。）が委嘱する。

2 役員及び委員は、無報酬とする。

(役員職務)

第5条 委員長は、専門委員会を代表し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故のあるとき、又は欠けたときはあらかじめ委員長が指名した副委員長が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 専門委員会は、必要に応じて委員長が召集する。

2 専門委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれに当たる。

3 専門委員会は、専門委員の過半数の出席がなければ開催し、議決することはできない。ただし、専門委員会に出席することができない専門委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わることができる。この場合において、当該専門委員は、出席したものとみなす。

4 専門委員会の議事は、出席した専門委員（代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。）の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長は、必要に応じて専門委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(専門部会)

第7条 専門委員会は、運営上必要があるときは、専門委員会に専門部会を設置し、専門的事項について調査研究等を行わせ、その結果を報告させることができる。

2 専門部会の部会委員は、会長が委嘱する。

【参考資料2】

3 第3条から第6条までの規定は、専門部会について準用する。この場合において、これらの条文中、「専門委員会」とあるのは「専門部会」と、「委員長」とあるのは「部会長」と、「副委員長」とあるのは「副部会長」と、「専門委員」とあるのは「部会委員」と読み替えるものとする。

4 部会委員の任期は、専門委員の任期の例による。

(委任)

第8条 この規程に定めるもののほか、専門委員会及び専門部会の運営に関し必要な事項は、それぞれ委員長及び部会長が別に定める。

附 則

この規程は、令和5年2月14日から施行する。

別表（第2条関係）

名称	付託事項	委任事項
総務企画専門委員会	1 総務企画及び財務に関すること。 2 広報及び市民協働に関すること。 3 観光及びおもてなしに関すること。 4 他の専門委員会に属さない事項に関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。
競技式典専門委員会	1 競技に関すること。 2 式典に関すること。 3 施設に関すること。 4 その他競技式典に関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。
宿泊衛生専門委員会	1 宿泊に関すること。 2 医事及び衛生に関すること。 3 その他宿泊衛生に関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。
輸送交通専門委員会	1 輸送及び交通に関すること。 2 警備及び消防に関すること。 3 その他輸送交通に関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。

【参考資料 3】

第 80 回国民スポーツ大会・第 25 回全国障害者スポーツ大会
弘前市準備委員会宿泊衛生専門委員会名簿

【委員 9名】

◎委員長
○副委員長

委員長 1名

(順不同・敬称略)

選出区分	所属機関・団体名	役職	氏名
観光・宿泊・衛生関係	公益社団法人弘前観光コンベンション協会	専務理事	白戸 孝之

副委員長 1名

選出区分	所属機関・団体名	役職	氏名
市関係	弘前市	観光部長	神 雅昭

委員 7名

選出区分	所属機関・団体名	役職	氏名
観光・宿泊・衛生関係	岩木山観光協会	事務局長	小山 伸吉
観光・宿泊・衛生関係	弘前市旅館ホテル組合	組合長	木村 知紀
医療・福祉関係	一般社団法人弘前市医師会	会長	澤田 美彦
医療・福祉関係	一般社団法人弘前歯科医師会	地域医療保健 担当理事	松山 貴紀
医療・福祉関係	弘前地区消防事務組合	消防長	中村 康司
医療・福祉関係	公益社団法人青森県看護協会中弘南黒支部	中弘南黒支部長	宇野 美和子
国・県関係	中南地域県民局	地域健康福祉部保健総室次長	高橋 忠仁

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会開催準備経過

年 月 日	経 過 内 容
平成27年 9月18日	青森県知事が青森県議会（平成27年9月定例会）の提出議案説明において、平成37年に開催される第80回国民体育大会本大会の本県招致を表明
10月 9日	青森県議会が「第80回国民体育大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
11月20日	青森県知事、青森県教育長、公益財団法人青森県体育協会会長が、文部科学省及び公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出
平成28年 1月13日	公益財団法人日本体育協会理事会において、開催申請書提出順序の了解（開催内々定）
8月31日	第80回国民体育大会青森県準備委員会設立総会・第1回総会
平成29年 4月19日	<u>第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回常任委員会において、第80回国民体育大会会場地市町村第一次内定【体操（競技、新体操）、ソフトボール、弓道、空手道、高等学校野球（硬式、軟式）】</u>
5月24日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回総会
平成30年 1月15日	<u>第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回常任委員会において、第80回国民体育大会会場地市町村第二次内定【クレ射撃】</u>
7月10日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回総会
8月30日	第80回国民体育大会青森県準備委員会が第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会に改称
12月21日	<u>第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回常任委員会において、第80回国民スポーツ大会会場地市町村第四次内定【体操（トランポリン）】</u>
令和 元年 5月28日 ～29日	<u>中央競技団体正規視察【高等学校野球】</u>
6月14日	<u>第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回常任委員会において、第80回国民スポーツ大会会場地市町村第五次内定【ライフル射撃（50m/10m・AP、BP・BR）】及びデモンストラレーションスポーツ会場地市町村第二次内定【マスターズ陸上競技】</u>

【参考資料4】

年 月 日	経 過 内 容
6月26日	<u>中央競技団体正規視察【弓道】</u>
7月 1日	<u>中央競技団体正規視察【ソフトボール（弘前市分）】</u>
7月26日	<u>中央競技団体正規視察【クレール射撃】</u>
7月29日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回総会
7月30日	<u>中央競技団体正規視察【体操】</u>
8月29日	<u>中央競技団体正規視察【空手道】</u>
11月 6日	<u>中央競技団体正規視察【ライフル射撃（弘前市分）】</u>
令和 2年 6月 1日	青森県知事、青森県教育庁、公益財団法人青森県スポーツ協会会長が、文部科学省と公益財団法人日本スポーツ協会に開催申請書を提出
7月22日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回総会（書面決議）
9月25日	公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、鹿児島県及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の4者が鹿児島国体を令和5年度に開催することを決定し、これにより第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）を令和8年に一年延期することが決定
10月 8日	公益財団法人日本スポーツ協会臨時理事会において、第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）の開催地として青森県が内定
11月20日	第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会第1回会議
令和 3年 2月 1日	<u>第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第9回常任委員会において、第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ会場地市町村第四次内定【ビリヤード】</u>
7月 9日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回総会（書面決議）
令和 4年 3月23日	<u>第25回全国障害者スポーツ大会青森県準備委員会より会場地決定の通知【フライングディスク、ボッチャ】</u>
4月 1日	<u>弘前市健康こども部スポーツ振興課内に、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備室を設置（専任職員3名）</u>
令和 4年 6月27日	<u>第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市準備委員会設立発起人会を開催</u>

【参考資料4】

年 月 日	経 過 内 容
7月22日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回総会
8月23日	<u>第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市準備委員会設立総会・第1回総会を開催</u>
12月21日	<u>第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第11回常任委員会において、ソフトボール（成年女子）の競技会場を、【弘前市運動公園野球場、弘前市運動公園多目的運動場】から【弘前市運動公園野球場、岩木山総合公園野球場】に変更</u>
令和 5年 2月14日	<u>第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市準備委員会第1回常任委員会を開催</u>
4月25日	<u>中央競技団体正規視察【ライフル射撃（弘前市分）】</u>
7月 5日	<u>第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市準備委員会第1回総務企画専門委員会を開催</u>
7月10日	<u>第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市準備委員会第1回宿泊衛生専門委員会を開催</u>